

火災保険の賢い見直し術

近年、火災保険の保険料は全国的に上昇しています。その背景には、台風・豪雨・土砂災害など自然災害の増加があり、被害規模が大きくなったことで保険会社の支払額が増えていることが挙げられます。さらに、建築資材や修理費の高騰も影響し、保険料改定が以前より頻繁に行われるようになっていきます。

負担を抑えるためには、いくつかの見直しポイントがあります。まず、水災リスクが低い地域では水災補償を外すことで保険料を抑えられる場合があります。

また、現在選択できる最長期間である5年の長期契約を利用することで、契約期間中の値上げを回避できます。加えて、免責金額（自己負担額）を設定することで保険料が下がるケースもあります。

さらに、建物の耐火性能や防災設備によっては割引が適用されることがあるため、築年数や設備の確認も重要です。

見直しのタイミングは更新時だけでなく、ライフスタイルの変化やリフォーム時にも良い機会です。過剰な補償は不要ですが、万一来ることは大切です。ご自身の生活環境に合った補償を選び、賢く備えましょう。詳しい診断やシミュレーションは、ぜひ当代理店にご相談ください。

令和8年1月12日